Special Matinée　平日の午後、巨匠と過ごす贅沢なひととき

ライナー・キュッヒル
ヴァイオリン・リサイタル
Violin Recital

ウィーンの名匠が奏でる、
ベートーヴェンの真髄



加藤洋之（ピアノ）
Hiroshi Kato, piano

BEETHOVEN 200TH ANNIVERSARY
～ベートーヴェン没後200年記念～

Program

L.v.ベートーヴェン *Ludwig van Beethoven (1770–1827)*
ヴァイオリン・ソナタ第4番 イ短調 作品23 *Violin Sonata No. 4 in A minor, Op. 23*
ヴァイオリン・ソナタ第5番 ヘ長調 作品24「春」 *Violin Sonata No. 5 in F major, Op. 24, "Spring"*

ヴァイオリン・ソナタ第7番 ハ短調 作品30-2 *Violin Sonata No. 7 in C minor, Op. 30, No. 2*
ヴァイオリン・ソナタ第9番 イ長調 作品47「クロイツェル」 *Violin Sonata No. 9 in A major, Op. 47, "Kreutzer"*

2027
2.15［月］
14:00開演
（13:30開場／16:30終演予定）
浜離宮朝日ホール
Mon. 15th February 2027 at 2.00p.m at Hamarikyu Asahi Hall

【入場料】全指定席 ¥7,000（税込）　2026/11/22(日)一般発売

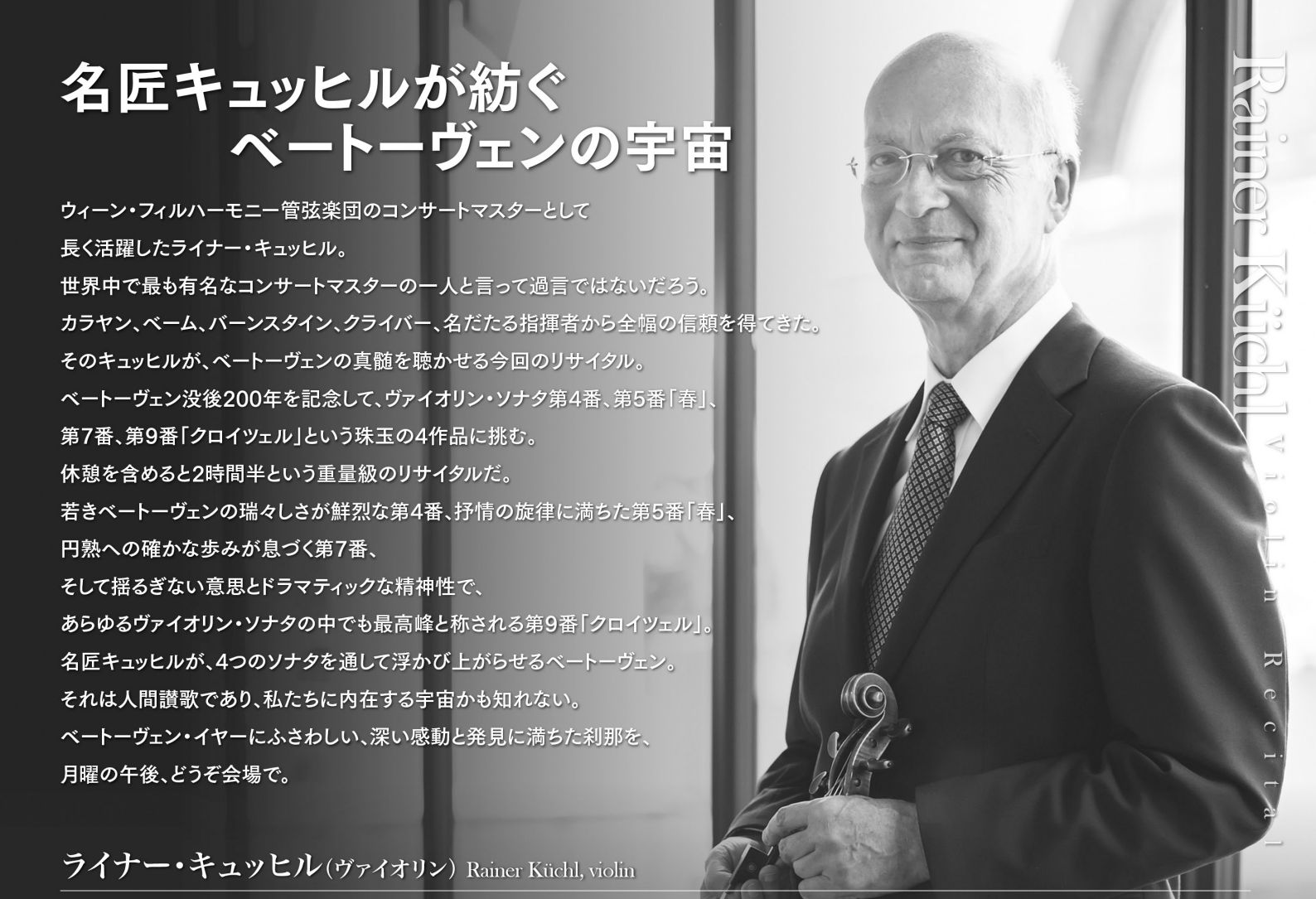
©Winnie Kuechl

○チケットのお申込み
朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990（日・祝除く 10:00-18:00）
イープラス https://eplus.jp/〈PC&携帯〉　チケットぴあ　https://t.pia.jp/〈PC&携帯〉Pコード：341-379
ローソンチケット　https://l-tike.com/〈PC&携帯〉Lコード：35174

主催・お問い合わせ：AMATI TEL:03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S103 https://www.amati-tokyo.com

AMATI

名匠キュッヒルが紡ぐ
ベートーヴェンの宇宙



ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターとして
長く活躍したライナー・キュッヒル。
世界中で最も有名なコンサートマスターの一人と言って過言ではないだろう。
カラヤン、ベーム、バーンスタイン、クライバー、名だたる指揮者から全幅の信頼を得てきた。
そのキュッヒルが、ベートーヴェンの真髄を聴かせる今回のリサイタル。
ベートーヴェン没後200年を記念して、ヴァイオリン・ソナタ第4番、第5番「春」、
第7番、第9番「クロイツェル」という珠玉の4作品に挑む。
休憩を含めると2時間半という重量級のリサイタルだ。
若きベートーヴェンの瑞々しさが鮮烈な第4番、抒情の旋律に満ちた第5番「春」、
円熟への確かな歩みが息づく第7番、
そして揺るぎない意思とドラマティックな精神性で、
あらゆるヴァイオリン・ソナタの中でも最高峰と称される第9番「クロイツェル」。
名匠キュッヒルが、4つのソナタを通して浮かび上がらせるベートーヴェン。
それは人間讃歌であり、私たちに内在する宇宙かも知れない。
ベートーヴェン・イヤーにふさわしい、深い感動と発見に満ちた刹那を、
月曜の午後、どうぞ会場で。

ライナー・キュッヒル（ヴァイオリン） Rainer Küchl, violin

オーストリア、ワイドホーフェン・アン・デア・イプス市生まれ。11歳よりヴァイオリンを始める。1964年、ウィーン国立音楽アカデミーに入学し、フランツ・サモヒル教授に師事。1967年よりソロ活動を開始。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、ウィーン交響楽団、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、NHK交響楽団等のオーケストラ、並びに指揮者ではアバド、ベーム、バーンスタインらと共演。同時に数々のリサイタルや録音を行う。1971年、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに就任。1972年ホーフブルグカペレのコンサートマスターに就任。1982年、ウィーン国立音楽アカデミー（現ウィーン国立音楽大学）教授に就任。1985年、ザルツブルグ州知事より金功労勲章受章。1988年、オーストリア共和国より学術、芸術に対するオーストリア名誉十字勲章受章。1994年、オーストリア共和国に対する功績として共和国より大名誉勲章を受章。2001年、ウィーン・フィル創設以来、現役のコンサートマスターとしては初めてウィーン国立歌劇場の名誉会員に選ばれる。2010年11月、日本政府より旭日中綬章を受章。2016年8月31日をもって45年間務めたウィーン・フィルハーモニー管弦楽団およびウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターを退任。ウィーン国立音楽大学名誉教授。キュッヒル・クァルテットリーダー。その他、ソロ活動、審査員などを務める。 オフィシャルホームページ　www.rainerkuechl.com



© R-Resonance

加藤洋之（ピアノ） Hiroshi Kato, piano

東京藝術大学附属音楽高校を経て同大学を首席で卒業。「安宅賞」を受賞する。大学院在学中の1990年にジュネーヴ国際音楽コンクール第3位入賞、ハンガリー国立リスト音楽院に留学してイシュトヴァン・ラントシュ氏に師事する。1996年からはケルンに移りパヴェル・ギリロフ氏の下でさらに研鑽を積んだ。これまでにハンガリー国立響、ブダペスト・フィル、ブルガリア国立放送響、スウェーデン・ヘルシンボリ響、東京都響、日本フィルなど内外のオーケストラとの協演、ウィーン芸術週間、プラハの春、ルセ国際音楽祭、リムーザン室内楽フェスティヴァル等の音楽祭、BBC、ORF(オーストリア)、スイス・ロマンド放送、ハンガリー国営TV、またウィーン楽友協会、ウィグモア・ホールをはじめヨーロッパの主要ホールへの出演など各地で演奏活動を続けている。ウィーン・フィルの奏者たちと頻繁に室内楽を演奏し、特にライナー・キュッヒル氏とは1999年以来、国内外において数多くの公演を重ねてきた。2019年にオクタヴィアレコードより初のソロCD「時間から空間へ～ワーグナーへのオマージュ」がリリースされレコード芸術誌で特選盤となる。令和元年度文化庁芸術祭音楽部門「大賞」を受賞。



浜離宮朝日ホール

〒104-8011東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社・新館2階 TEL.03-5541-8710

アクセス

- 「築地市場駅」都営大江戸線（A2出口）すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線（1,2番出口）より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線
  都営浅草線（6番出口）より徒歩約8分
- 「汐留駅」都営大江戸線（新橋駅方面改札口）
  新交通ゆりかもめ（改札口）より徒歩約10分
- 「新橋駅」JR（汐留口）
  東京メトロ銀座線（1、2番出口）
  都営浅草線（改札口）より徒歩約15分

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意下さい。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。